

12月2日(火)手話のお話

12月2日(火)に、手話についての理解を深める学習を行いました。

授業ではまず、県立聾学校についてお聞きしました。チャイムの音を「光のランプ」で知らせる工夫などを教えていただきました。また、コミュニケーションの方法は手話以外に、指文字(手の形で文字を表す)、口話(口の動きを読む)、筆談・空書(文字を書いて伝える)、身ぶりなど、さまざまな方法で「伝え合う」ことができることも学びました。

次に、実際に手話に挑戦しました。あいさつや自分の気持ち、スポーツに関する手話を教わり、みんなで一緒に手を動かしました。指の動き一つひとつに意味があることを知り、一生懸命に表現する姿が印象的でした。

最後に、東京で開催された「デフリンピック」の映像を視聴しました。4年後のギリシャ大会に向けたお話を聞きながら、動画に合わせてみんなで手話を練習し、応援の気持ちを高めました。

授業を終えた子どもたちからは、「もっとたくさんの手話を知りたい!」「知らないかった手話を覚えることができてうれしかった。」といった感想がありました。今回の体験を通して、相手を思いやり、多様な方法でつながり合うことの素晴らしさを学ぶことができました。

